

水痘感染対策に関するお願い（入院）

入院後の水痘（みずぼうそう）の発症は、院内での感染拡大や重症化につながります。

つきましては、院内感染防止のため、入院を予定されている皆様に、次のとおりご協力いただきたくお願い申し上げます。

（１）水痘ワクチンの２回接種

水痘にかかったことがない２歳以上の予定入院患者さんについては、入院１週間前まで（やむを得ない事情のある場合は２日前まで）に、水痘ワクチンを２回接種することを義務化いたします。

なお、水痘にかかったことがある方は、罹患歴を母子手帳で確認します。母子手帳での確認ができない場合は、入院前に抗体価検査の採血を行います。

- ① ２回接種が済んでいない方は、入院が延期となる場合があります。なお、緊急入院や延期できない手術はこの限りではありません。
- ② 水痘は、１回ワクチン接種をしてもかかることがあります。ワクチンの効果を確実にするために、現在は２回接種が推奨されています。２回目の接種は、１回目の接種から３か月経過後に可能です。
- ③ 他のワクチンと同時接種も可能です。かかりつけ医にご相談ください。
- ④ ２回接種により、後の帯状疱疹の発生頻度を低下させる効果も期待できます。

（２）感染症状と接触・流行状況の確認

「入院時感染チェック表」に該当する項目がある場合は、入院前に当院にご連絡をお願いいたします。

※ 状況により、入院が延期となる場合があります。